

協議会だより

発行・編集 大阪障害者スポーツ指導者協議会 広報部

大阪市東住吉区長居公園 1-32 大阪市長居障害者スポーツセンター内

TEL 06-6697-1402 FAX 06-6697-8613

平成 17 年 10 月 10 日

第 52 号

平成 16 年度

年次総会報告

平成 17 年 6 月 12 日（日）長居障害者スポーツセンターにおいて総会が行われました。

また総会基調講演は、井上幹一氏により「スペシャルオリンピックスの開催報告と知的障害者のスポーツについて」をテーマに講演して頂きました。

事業報告

事務局

(1) 理事会の開催について

平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月

第 1 月曜日

場所・長居障害者スポーツセンター

(2) ボランティア協力について

☆第 4 回大阪府・大阪市障害者スポーツ大会

☆2004 ジャパンパラリンピック陸上競技大会

☆第 4 回クイーンカップ全国大会フロ

☆第 15 回日本障害者陸上競技大会車椅子マラソンの部

(3) 全国障害者スポーツ大会の選手へのサポート協力

研修部

第 1 回研修会

視覚障害者のスポーツ指導

第 2 回研修会

アテネパラリンピックを終えて

第 3 回研修会

チームライフ研修会

広報部

協議会だよりの発行

第 48 号

平成 16 年 5 月発行

第 49 号

平成 16 年 8 月発行

第 50 号

平成 17 年 1 月発行

第 51 号

平成 17 年 5 月発行

平成 17 年度事業計画（案）について

1、事務局

各種ボランティア要請・各種発送業務等について迅速に対応・対処することしたい。また、協議会の会員が意欲的にボランティア活動やスポーツ指導に参加して頂けるよう努力したい。

2、研修部

全国障害者スポーツ大会の種目の実技を中心に研修を行うこととする。

編集後記

平成 17 年度の広報の目標は、大阪府下の会員の皆さんに「協議会だより」を送達することです。広報活動に興味のある方、一緒に活動しませんか？いちど扉を叩いて見て下さい。

月に 1 度、理事会も開いています。是非、参加して見て下さい。と少し、宣伝させて頂きました。会員数は、多いのですが、なかなか皆さんの声が聞こえてこない。

いろいろな、ボランティアにも参加し会員同士の疎通を計りましょう。

広報部一同



お知らせ

研修部より

詳細は別紙参照

第 1 回研修

平成 17 年 11 月 23 日（水・祝）

講師

東京都障害者スポーツ指導者協議会副会長

植田 敏 郎 氏

テーマ（仮題）

「障害者スポーツ

ボランティアのためのスキルアップ」

～上手なスポーツボランティアの方法とは～

場所：大阪市長居障害者スポーツセンター

第 2 回研修

平成 18 年 1 月 14 日（土）

講師

NPO 法人・大阪ライフサポート協会

医師・看護師・救命救急士等

テーマ

「救命救急の基礎知識」

～救急車が到達するまでに

何が出来るか～

場所：大阪府立介護実習・普及センター

2005 ジャパンパラリンピック 陸上競技大会	平成 17 年 10 月 22 日(土) 平成 17 年 10 月 23 日(日)	大阪市長居陸上競技場
第 5 回全国障害者スポーツ大会	平成 17 年 11 月 5 日(土) ～ 平成 17 年 11 月 7 日(月)	岡山県陸上競技場 (桃太郎スタジアム) 他
第 16 回日本身体障害者陸上競技 選手権大会車椅子マラソン	平成 18 年 1 月 9 日 (祝・月)	大阪市長居公園長距離走路

3、広報部

年 2 ～ 3 回の回数で「協議会だより」を発行し、日本障害者スポーツ協会に登録している大阪府内の会員、及び情報提供の依頼のあった会員に対して送付する。協議会として活動報告も含め、障害者スポーツに関しての情報も報告できるようにする。

平成 16 年度決算報告

平成 16 年度 大阪障害者スポーツ指導者協議会決算 (金額単位: 円)				
科目	予算	実績	差異	備考
収入				
前期繰越金	1,806,583	1,806,583	0	
交付金	1,280,000	2,068,700	808,700	日障協より交付金
雑費		6,321		
利息		15		
合計	3,086,583	3,881,619	815,036	
支出				
旅費交通費	50,000	135,210	-85,210	全国協議会会議他
通信費	950,000	145,975	269,000	研修会費用、講師謝礼金
専門料		534,928		協議会だより作成
通信費	800,000	408,760		協議会だより、チラシの印刷費等
事務用品消耗品費	200,000	157,707	42,293	紙幣、用紙代他
雑費	5,000	0	5,000	
印刷費	0	0	0	
雑費	5,000	5,089	-89	
手数料	20,000	0	20,000	
合計	2,080,000	1,387,691	642,309	
収支差	1,006,583	2,493,922	1,487,339	
次期繰越金	1,006,583	2,493,922	1,487,339	
現金				
預金				
合計		2,493,922		

以上のとおり報告いたします。

平成 17 年 5 月 31 日 事務局 山崎 美津子

監査の結果、上記のとおりであったことを確認しました。

平成 17 年 5 月 31 日 監査 秋浦 希

平成 17 年度予算案

平成 17 年度 大阪障害者スポーツ指導者協議会予算 (案) (金額単位: 円)		
科目	予算	備考
収入		
前期繰越金	2,493,922	
交付金	1,280,000	金 700 × 1,800 人
雑費		
合計	3,773,922	
支出		
旅費交通費	150,000	
通信費	800,000	
専門料消耗品費	200,000	
雑費	10,000	
専門料	150,000	
通信費	400,000	
手数料	5,000	
印刷費	20,000	
合計	1,735,000	
収支差	2,038,922	
次期繰越金	2,038,922	

主な算出基礎

1) 収入の部

(1) 前期繰越金 2,493,922

(2) 交付金 1,280,000

日障協会費より還付

2) 支出の部

(1) 旅費交通費 150,000

(2) 通信費 800,000

(3) 専門料消耗品費 200,000

(4) 雑費 10,000

(5) 専門料 150,000

(6) 通信費 400,000

(7) 手数料 5,000

(8) 印刷費 20,000

おじゃまします

クラブ紹介

お よ ご う 会



ほんわか・ほんわかで

およごう会会長・西原成幸氏

昭和 50 年 5 月、第 1 回水泳教室の卒業生の集まりで立ち上げ「およごう会」とし、当初 8 名だった人数も今は 50 名を越すクラブとなった。

クラブができた頃は、障害者スポーツがまだまだ活発ではなかったため、センターの中ではほとんどの人たちがおよごう会のメンバーだった。といっても過言ではない。その頃のクラブは卓友会、車椅子バスケットボール、アーチェリー、およごう会と少なかったように思う。

夏は海で 1 泊、忘年会、各種大会、近畿大会、日本選手権、ジャパンパラリンピック大会などに出場参加。大会のひとつに野尻湖の大会があり、昭和 2 年から始まっている大会である。

この大会に 10 年続けて参加した。10 km を 5 時間かけ泳ぐので疲れるが大変おもしろい。

現在、練習は 2200m～2500m は泳いでいる。

当初は、初心者指導もしていたが、現在はスピード練習に変わってきた。

「泳ぎをより早く、より長く、泳ぎを通じてユニークな仲間作り」で、ほんわか、ほんわかでやっています。

2005 大阪市ふれあい水泳大会

平成 17 年 9 月 23 日(祝・金)
大阪市舞洲障害者スポーツセンター

目的

本大会は、障害者(児)が日頃の練習の成果を示す場を提供することにより、意欲と自身を養うとともに、友好と親睦を図り、また、健康の維持増進、体力の向上や社会参加の機会とすることを目的とします

右記に掲げられた通り、就学前から 18 歳以上の選手達は、タイムレースにふさわしく力一杯競い合いました。

種目別、年齢区分別に 1 位～3 位にメダル、入賞以外の選手に敢闘メダルが授与されました。

選手の顔には、達成感があふれ、笑顔も素敵で、たくさんの方の元気を頂きました。

見つけようこ記録バリエーション

スペシャルオリンピックスの開催報告と

知的障害者のスポーツについて

講師 スペシャルオリンピックス日本 大阪事務局長
兼 スペシャルオリンピックス日本 理事・執行委員

井上 幹一 氏

1. スペシャルオリンピックスとは

・ スペシャルオリンピックスの使命

スペシャルオリンピックスの使命は、年間を通して様々なオリンピック競技種目に準じたスポーツのトレーニングと競技会を、知的発達障害のある人たちに提供するものです。

スペシャルオリンピックスは、体力の向上にはもちろんのこと、勇気を表現することや、楽しみを経験するためにも、継続的な機会を提供します。

アスリートは、プログラムに参加することで、技術や友情を、家族や地域の人々や他のアスリートといっしょに分ちあうことができると考えます。

(スペシャルオリンピックスに参加している選手達をアスリートと呼びます)

・ スペシャルオリンピックスはどこで、誰がはじめたのですか？

1963 年アメリカにて、エリス・ケネディ・シュライバー婦人(故 J.F.ケネディ大統領妹)が始めました。

・ スペシャルオリンピックスは誰のために何をするのですか

●対象者

- ・ アスリート (6 歳以上の知的発達障害者)、ファミリー、ボランティアすべてが参加者
- ・ メディカルチェック(健康診断)より活動効果をあげるため

●プログラムと競技会の提供

- ・ 1 競技の 1 プログラムは、1 週間に 1 回程度で 8 週間以上のトレーニング
- ・ 1 プログラムが終われば、競技会(競技ルールに従って、みんながトレーニングの成果を認め合える場)を実施する

●競技会

- ・ いろいろな競技会が設定されている。アスリートの課題に応じて選択するが、すべての競技会が同じレベルでの重要性をもっている。

・ ディビジョニングとは何ですか？

性別、年齢、競技能力レベル(10%のガイドライン)により、3 名から 8 名のグループにて競技をする。

表彰・・・ディビジョニングのための競技や演技(予選)の後、決勝を行い、1 位から 3 位までにはメダルを 4 位以下のアスリートにはリボンが授与される。

・ 宣誓

“Let me win, but if I cannot win, let me be brave in the attempt!”

「わたしたちは、勝利を目指して競技します。たとえば、勝たなくとも勇気をだしてがんばります。」

・ オネスト・エフォートルール

スペシャルオリンピックス競技規則の基本的精神です。つねにアスリートが全力で取り組めるようにコーチはサポートします。このルールに違反するようなことがあると、失格になる場合があります。

・ スペシャルオリンピックスには、どんなスポーツ競技があるのですか？

スペシャルオリンピックスでは、アスリートの健康、安全、またはスペシャルオリンピックスの哲学的理由から禁止しているスポーツもあります。それらのスポーツをトレーニング、イベント等で提供することも禁じています。

競技会(発表会)

競技別競技会・・・トレーニングプログラムが終わったときの競技会

地区合同競技会・・・いくつかの競技が集まってする競技会



3. 知的発達障害のある人との活動において

●共に生きるとは

- ・ 人と人、人と環境等自分以外のものとの関係の中で、人間となっていく一定した価値観の育成が必要
- ・ 少しの気づかいで、共に同じ社会で生きることができる
- ・ 個性、特性を認め、生きていることを認めあう！

●具体的には、どうしましょうか？

- ・ 挨拶「〇〇さん こんにちは！」から始めよう
- ・ 一緒に動いて、まねをしてみませんか
- ・ いろんなことばかけを！きれいな日本語をたくさん・・・！

●選択の機会を

- ・ 周りからの指示で行動することが多かった生活を、自己意志・自己表現ができるようにしましょう。自己責任があることも忘れず伝えましょう。

●自傷、他傷行動について

- ・ コミュニケーション手段です。なぜそのような行動をしているのか、考えてください。受け入れられない行動は、ダメだしをしましょう。体罰や怒鳴りではなく、冷静に受け入れられないことを伝えましょう

●多動について

- ・ 探索行動は誰にでもあります。しばらく、様子を見て付き合ってみてください。無理に活動の輪に入れようとするのではなく、徐々に楽しい活動への誘い込みをして下さい。

●手をかけすぎず、目と心は十分に！

- ・ 一人ひとりにおいて援助の度合いは違います。手をかけ過ぎることが、アスリートの生活を狭くすることがあります。また、援助の度合いが低くてもいいと思われるアスリートにおいては、援助が必要なときに求めてこないこともあります。すべてのアスリートに対して、物理的に離れていても目と心はしっかり対応しておいてください。

●いい見本であって下さい

ナショナルゲーム・・・全国大会（夏、冬4年毎に開催）

リージョン大会・・・アジアパシフィック内での大会

ワールドゲーム・・・世界大会（夏、冬4年毎に開催）

夏季公式スポーツ競技

＊水泳 ＊サッカー ＊テニス ＊陸上 ＊体操
＊バレーボール ＊バスケットボール ＊ゴルフ
＊ボウリング ソフトボール 乗馬 自転車

ローラースケート

冬季公式スポーツ競技

＊アルペンスキー ＊スピードスケート ＊フィギュアスケート ＊クロスカントリースキー ＊フロアホッケー ＊スノーシューイング ＊スノーボード

公開スポーツ競技

＊バトミントン ＊卓球 ＊ボッチャ

パワーリフティング ハンドボール ヨット

・ ユニファイドスポーツ

ユニフライド・スポーツは、知的発達障害のある人となない人が共に参加する競技形式であり、S0 独自のものです。ルール等現在も改善が進んでいます。

・ モーターアクティビティトレーニングプログラム（MATP）

重複障害のあるアスリートに対してのプログラム

・ スペシャルオリンピックスの効果は？

●参加者の自尊心の育成

●体力向上、運動機能向上、心肺機能向上、持久力向上

●社会的自身、社会との交流、家族の活動と旅行、家族のプライド

●地域の理解と参加→社会の変革へ

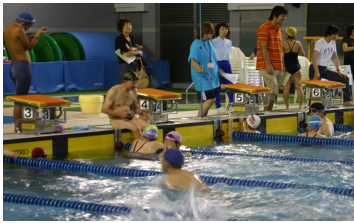
2. 「スペシャルオリンピックス冬季世界大会・長野」に関わって

●500万人トーチラン活動

2004年9月より全国各地で開催した。S0 組織の未設置県においても実施され、全国47都道府県すべてにてS0の活動認知が広がった。今後、組織拡大の足がかりとなった。

●大会開催

◆実施期間 2005年2月26日～3月5日



初めて参加した選手もいた。緊張していたが、レースが始まると練習の成果を発揮していた。



ボウリング

平成17年5月29日（日）

水泳

平成17年6月5日（日）

障害者がスポーツを通じ、体力の維持、増強と能力の向上を図るとともに、積極性と強調性をつちかい、自立と社会参加の促進に寄与することを目的に各種スポーツ競技会を開催する。あわせて平成17年11月5日～7日に岡山県で開催予定の「第5回全国障害者スポーツ大会」に出場する選手の選考及び育成を目的とする。

全国障害者スポーツ大会

目 的

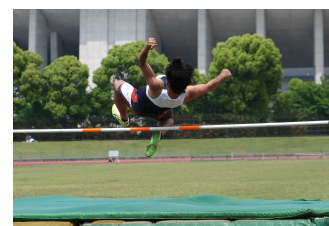
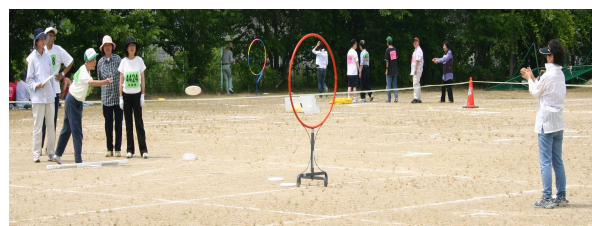
障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とする。

※全国障害者スポーツ大会競技規則にしたがって行わなければならない。

5月に行われたスポーツ大会において、府・市の代表選手が決まりました。幾度かの経験をもつ選手、初参加の選手とそれぞれが胸をときめかせ11月の全国大会に向けて練習をしています。個人競技・団体競技ともに大阪府、大阪市の選手達には頑張って欲しいものです。

次号の「協議会だより」で、報告させていただきます。

ファイト！大阪



アキュラシー競技

1. プレーヤーは10回連続して試技するものとする。
2. スローイングの方法は自由とする。
3. 補装具も含め、競技上有利となる用具の使用は認めない。
4. プレーヤーが視覚障害者の場合、競技役員がアキュラシーゴール後方 3m の距離から音源で知らせることができる。
5. 試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分とする。5分をこえた試技は無効となる。



視覚障害者部門60m競走
フィニッシュラインの後方から、競技役員が音源および声によって競技者を誘導するものとし、音源はハンドマイクに収納した音源またはそれに類似するものとする。

陸上競技

フライングディスク

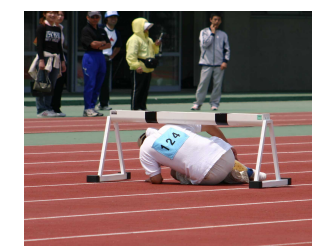
平成17年5月15日(日)



障害急歩

「走れない人」を対象に設定されたもので、機能回復訓練のために使用する器具を障害物とする種目
※競技者はそれぞれの障害物を次の規則に従って通過しなければならない。

1. 幅の障害物は2つの障害板に身体がふれないように通過する。
2. 高さの障害物は、身体や補装具のいかなる部分も障害物に触れることなく、か



または脚が障害物の外側にはみ出さないように通過する。

3. 潜りの障害物は身体の補装具のいかなる部分も障害物に触れることなく通過する。

4. 階段の障害物は足(靴)や補装具以外、身体のいかなる部分も障害物に触れることなく、各階段に足(靴)をつけて1段ずつ昇降する。

第5回障害者スポーツ大会

第5回障害者スポーツ大会は、平成17年5月15日(日)から始まり、運動日和の快晴でスタートした。汗を流し記録に挑戦し、全国大会を目標に頑張っている。

卓球・アーチェリー

平成17年5月22日(日)



5月22日は、天候が悪く屋外で行っていたアーチェリーの選手は大変でした。



サウンドテーブルテニ



スラローム

1. 前進で旗門を通過するとは、座位姿勢で胸腹部が向いている方で、旗門を通過することをいう。
2. 旗門を通過する前に回転することがあるので、前方にある車輪2つが旗門を完全に通過してから回転しなければならない。
3. 時速4.5kmと時速6.0km以下の電動車椅子、および車椅子の使用者(障害区分16、17)は、それぞれ組を別に

